

令和5年度 学校評価計画表

| | | | | | | |
|---|---|--|--------|----------------|-------|----------------------|
| 教育目標 | 高い志をもち、広く社会や地域に貢献する自立した人材の育成 | | | | | 総合評価 |
| 運営方針 | <p>「不撓不屈」の校訓のもと、「土に学び土で育つ」をスローガンに定め、実学を重視した教育活動を展開する。「できないこと」が「できること」に変わる、生徒が日々成長する学校、「行きたい」「来てよかった」と思える魅力ある学校づくりを実現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学び、変化する社会に対応できる確かな学力を培う。 ・他人を思いやる豊かな心を育て、人権を尊重し、社会に貢献する精神を育む。 ・健康、安全についての知識を深め、健康保持に努めるたくましい心身を養う。 | | | | | |
| 令和5年度の成果と課題 | | 本年度重点目標 | | | | |
| <p>地元農家の協力を得て、実習を核にした実学教育の推進、新たな学校行事を含めた教育課程の再検討を必要とする。</p> <p>全国から生徒を募集しているが、募集定員を満たしていない。学校の魅力づくりや情報発信をさらに強化する。</p> <p>農業の専門高校としての農業施設や設備の整備・充実が急務である。</p> <p>オンラインを利用した授業のあり方についてさらなるスキルアップが必要である。</p> | | 基礎学力の定着と個に応じた進路指導を実現する。～授業の改善・実習の充実とキャリア形成～ | | | | |
| | | 安心で安全な学校づくりに努める。～開発的生徒指導と豊かな心を育てる人権教育～ | | | | |
| | | 充実した学校生活を実感できる教育活動を実施する。～学校行事の充実と部活動の活性化～ | | | | |
| | | 保護者や地域との連携を密にする。～情報発信、学校評価、地元協力農家との連携～ | | | | |
| 評価項目 | 具体的目標 (評価小項目) | 具体的方策・評価指標 | 自己評価結果 | 成果と課題(評価結果の分析) | 改善方策等 | 学校関係者評価(結果・分析)及び改善方策 |
| 総務 | 家庭・中学校・関係諸機関との連携に向けて、具体的な取組を行う。 | 学校運営協議会を実施し、地域や育友会との連携を密にし、広く協力・援助を求める。【目標 年2回】 | | | | |
| | 地域社会の人的・物的な資源を積極的に教育活動の中で活用する。 | こども園や高齢者との交流の機会を設ける。また地域の先進農家や社会人講師の講義等を授業に取り入れる。【目標 交流年4回、社会人講師5回以上】 | | | | |
| | 広報活動を生徒や保護者、地域の方々等各方面に展開し、本講への理解を深めてもらえるよう努める。 | 本校の魅力・特色を広く理解してもらえるよう、中学生の体験入学、パンフレット、学校新聞、学校ホームページ、ブログ等、情報発信に努める。【目標 ブログ更新週3回以上、アクセス数月6,000件以上】 | | | | |
| 学習指導 | 各教科・科目において基礎・基本的事項、専門的知識・技術の定着を図る。 | 基礎的・基本的事項とその達成目標を明確にするとともに、学習方法についても単元・教材ごとに確認する。 | | | | |
| | 個性を生かし多様な人々との協働を促す教育を推進する。 | 校外での実習や競技会・イベント等に積極的に参加する意欲を育み、成果をあげる。 | | | | |
| | 学習指導力の向上を図る。 | 授業研究月間を設定し、全ての授業を公開して、多くの授業を参観し学習指導の研究を行う。また、指導と評価の一体化の実施状況を確認する。 | | | | |

| 評価項目 | | 具体的方策・評価指標 | 自己評価結果 | 成果と課題(評価結果の分析) | 改善方策等 | 学校関係者評価(結果・分析)及び改善方策 |
|------|-----------------|---|--------|----------------|-------|----------------------|
| 生徒指導 | 規範意識の向上 | 全体指導、個別指導、家庭、地域の行事やボランティア活動などを通して、日常生活にかかわる基本的ルールを守る姿勢を育む。 | | | | |
| | いじめの防止 | 基本方針に基づいて、早期発見に努め、認知した場合は組織全体で対応する。また、教育相談体制を整え、予防に努める。 | | | | |
| | 安全教育 | 危機管理や安全についての意識を高め、交通安全や災害、防犯、不審者の対応、感染症対策などについて、全校生徒に周知徹底を計り、確認点検をする。 | | | | |
| 進路指導 | 計画的な進路指導 | HRを通して、進路実現に向けた準備を計画的に行う。 【目標 キャリアパスポートを作成する。(全学年)100%】 | | | | |
| | 自己分析の徹底 | 自分の性格・個性・興味・関心・自分の価値観について知る【目標 職業適性検査受検(2年生)100%、自己分析についてのHRを展開する。(全学年)100%】 | | | | |
| | 適切な勤労観の醸成 | インターンシップや農家実習での交流をとおして、自らの勤労観・職業観について価値観形成を図る。【目標 記録簿の記入 100%】 | | | | |
| 人権教育 | 人権感覚を育てる。 | 身近なテーマをホームルーム活動でとりあげ、人権に関する理解を深め、他人を思いやる豊かな心を養う。 【目標 人権HRの実施、年間5回以上】 | | | | |
| | 安心できる環境づくりに努める。 | 生徒が安心して学校生活を送れる環境づくりに努める。 【目標 「学校は安心できる環境づくりに取り組んでいますか。」というアンケート項目への回答で、「そう思う」80%以上】 | | | | |
| | 生徒を支援する体制を整える。 | 支援を要する生徒について、職員間で情報共有をおこない、全職員で支援する体制づくりに努める。【目標 年度内に特別支援計画・教育計画を作成する】 | | | | |
| 保健体育 | 体育行事への参加を推進する。 | 体育行事の内容や時期などの精査を行う。また、運営などに生徒を積極的に参加させることにより、参加意欲の高揚を図る。【目標 出席率100%】 | | | | |
| | 食育指導の徹底を図る。 | 欠食アンケートの実施や体力テストのアンケートをもとに、食習慣の実態を把握し、関係教科などで食育の推進を図る。【目標 欠食率15%以下】 | | | | |
| | 校内環境衛生管理を徹底する。 | 新型コロナウイルス感染症やその他の感染症の蔓延を防止するために、衛生維持、消毒液の補充などを徹底して行う。【目標 クラスタ発生件数0件】 | | | | |

| 評価項目 | 具体的目標 (評価小項目) | 具体的方策・評価指標 | 自己評価結果 | 成果と課題(評価結果の分析) | 改善方策等 | 学校関係者評価(結果・分析)及び改善方策 |
|------|------------------|--|--------|----------------|-------|----------------------|
| 第1学年 | 基本的生活習慣の確立 | 規則正しい生活習慣を心がけ、欠席・遅効・早退をせずに毎日の学校生活を送らせる。【目標 出席率97%】 | | | | |
| | 開始時間厳守 | 各授業の開始5分前に授業の教室に入り、チャイムと同時に号令をかけさせる。【目標 年間で入室カードの記入を一人平均3回以内に収める】 | | | | |
| 第2学年 | 学級自治の促進 | 望ましいコミュニケーションを意識させながら、学校行事などの学級での話し合い活動を生徒主導で行わせてまとめさせる。 | | | | |
| | 農家実習 | 農家実習で大切なルール遵守の徹底や、挨拶、態度、服装などの指導を行う。体調管理に注意させ、欠席をできるだけさせないようにする。 | | | | |
| 第3学年 | 規範意識の向上 | 集団生活で大切なルール遵守の徹底や、態度、服装、言葉使いなどの指導を行う。 【目標 毎朝、毎回の授業で服装確認】 | | | | |
| | 進路決定に向けた準備 | 進路について調べ、知識や情報を得て方向性を見出すことで、来年度の進路決定がスムーズに運ぶよう準備させる。【目標 面接の基本動作と簡単な質問への受け答え】 | | | | |
| 第4学年 | 進路の決定 | 進路に関しての面談や指導をきめ細やかに行い、生徒の意思に寄り添った進路実現ができるよう進路面談、進路活動等を積極的に行う。【目標 月2回以上】 | | | | |
| | 生活習慣の確立 | 就職・進学後を見据え、基本的生活習慣の確立や挨拶、マナー、身だしなみなどについての指導を徹底して行う。【目標 出席率:毎月95%以上】 | | | | |
| 農業科 | 安全・安心な農場作り | 増設したビニルハウスやカキ圃場を有効かつ安全に活用し、安心して実践的・探求的な学習活動を行える農場作りに努める。【目標 実習での事故0件】 | | | | |
| | 農家実習での深い学び | 農家実習後、学んだ知識や技術を毎回記録簿に整理させるとともに、思考力、表現力を育成する。 【目標 記録簿提出100%】 | | | | |
| | 農業クラブ活動の活性化 | 各競技会やコンテストへ参加により、農業に関する課題を合理的かつ創造的に解決する力を育む。 【目標 放課後活動週3日】 | | | | |